

変えよう！
ニッポンの
家づくり

新建ハウジング

8|20
Vol.940

THE SHINKEN HOUSING

- 12・13面 「ネクストジェネレーション」 “やってみる”から始まる、性能向上ノベに挑戦
14・15面 「ナノ工務店の経営術」 設計事務所と工務店の中間を目指す
17面 「トラブル事例」 打設後の基礎は乾燥？温潤？施工主への説明でトラブル
24面 屋根・耐久性向上 工務店が開発、簡単施工の透湿ルーフィングと通気膜緑

1-11面

暮らしに寄り添い、支える がんばる地場工務店

24換気は
SUMIKO
MAHBEX
NEW



夏の恒例企画「がんばる地場工務店」は、工務店らしい家づくりやあり方を見つめ直します。厳しい社会・経済情勢だからこそ、地域の人たち(顧客)の暮らしに寄り添い、支えるという地場工務店の本質的な存在価値が問われています。家づくりへのこだわりと情熱、それぞれの住まい手に対する強い想い、地域への使命感といったまねのできない価値を推進力に変えて、立ちはだかる危機的な市場を突破しましょう。本特集では、地域に根差し、小さくてもキラリと輝きを放つ、各地でがんばる工務店の事例を取り上げました。全国の読者から寄せていただいた、ふだんの工務店の風景と、そこにじみ出る工務店らしい家づくりや人の魅力を切り取った写真も紹介します。皆様の元気のもとにになれれば幸いです。

新建ハウジングがオンラインで読める！

お問い合わせ・定期購読お申込み先

0120-47-4341

お好みの壁紙が貼れるドア、新登場！
YKK AP
インテリアドアシリーズ
famitto [ファミット]

YKK AP株式会社 <http://www.ykkap.co.jp/>

「タブロイド判」「別冊付録ファンターママガジン」をオンラインで
閲覧できるサービスを提供中です。
ログインページ：<https://www.s-housing.jp/webviewer>
※詳細は上記URL(OR)を確認ください。右記フリーダイヤルまでご連絡ください。

新建新聞社
東京 〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目3番地3 FDC麹町ビル7階 TEL (03) 3556-5525 FAX (03) 3556-5526
長野 〒380-8622 長野県長野市南郷町686-8 TEL (026) 234-1211 FAX (026) 234-1310

- ① 獅子倉工務店 [埼玉県朝霞市]
② WARMTH坂口工務店 [富山県富山市]
③ 古民家ライフ [山形県山形市]
④ 樹々匠建設 [静岡県浜松市]

写真で見る工務店の風景

大工が設計する木の温もりあふれる心地いい家

「県産材を使って県内の職人が県内の人たちのためにつくる規格型住宅」をコンセプトに掲げて、家づくりの志が同じ建築家と一緒に映るモダンさをたたえている



大工が設計する木の温もりあふれる心地いい家

県産材の魅力と手刻みの技術を生かしすぎる



GANJIBA

02 WARMTH 坂口工務店 [富山県富山市]

「社名にあるWARMTHには、休日に家族みんなでゆっくりと過ごしたくなるような、暖かく快適で、木の温もりがあふれる心地いい家を届けていきたいという想いを込めました」。そう語るのは、WARMTH 坂口工務店（富山県富山市）社長の坂口智志さんだ。地元の木を使い、伝統の大工の技術を生かして作る、性能やデザインにも優れる家が、地域の人たちの心豊かな暮らしを支えている。

WARMTH 坂口工務店 社長 坂口智志さん

21歳から父のもとで大工修業をスタートし、いまも現

場でたき続ける坂口さんは手刻みで加工した木材をあらわしにする、木と大工の伝統的な技術を全面的に生

かした家づくりにこだわる。坂口さんは「僕自身、いまも現役の大工で、父から受け継い

で身につけた技術を発揮したい」という思いがあるのと同

じで、「自分たちしさ」がなくなってしまう、（競争の激しい市場に埋もれてしまう」と話す。

品質チェックから選木・番付まで行う。坂口さんは「品質を

【木のボテンシャル生かす】 天然・低温乾燥材を活用

住宅業界で、国産材や地産地消（資源の地域循環）の観点から地域材の活用が叫ばれて久しいが、坂口さんは「眞の意味で地元の木の良さやポテンシャルを生かして家

を建てるためには、大工の目と技が不可欠なはずだ」と訴

たいといふ思いがあるのと同

時に、これを生かさなかつたら“自分たちしさ”がなくなってしまう、（競争の激しい市場に埋もれてしまう」と話す。

材木屋さん任せにはしない。チェックして問題がある木材

は仕上げの前に取り換える

「木組みの階段」が

木の特性を知り尽くして決めるため、ロスのない効率的な加工（刻み）、建て方に

構造材に用いる富山県産のスギ材などの乾燥は、天然乾燥か低温乾燥に限定。「高温乾燥すると木が死んで工業製品になってしまふ。色も違うし、木特有の粘りや香り、調湿機能も落ちてしまう。長いホゾなどを手刻みで加工するわれわれにとっては“内

部割れ”を起こしやすい高温乾燥材は使えない」と坂口さんは話す。

「木組みの階段」が

木の特性を知り尽くして決めるため、ロスのない効率的な加工（刻み）、建て方に組み上げた木組みをあらわし、塗り壁や無垢板といった自

然素材の内装材と組み合わされることが、清潔で健康・快適な空間が生まれる。その空間の意匠的なアクセントとな

る。坂口さんは、手刻みという伝統的な技術を生かし、継承していくために「常に努力を忘れず、家づくりをアップデートしていくかなければ」と力を込める。「手刻みだから（価格が）高くていいとは絶対にならないし、デザインや性能

締め固めながらつくる「木組みの階段」や「木組みのスツール」などが施主から好評で、そのほかにも地元の建具屋に依頼して家ごとのティストに合わせて製作する玄関ドアによってデザイン性を高めている。

坂口さんは、手刻みという伝統的な技術を生かし、継承していくために「常に努力を忘れない」として、家づくりをアップデートしていくかなければ」と力を込める。「手刻みだから（価格

が）高くていいとは絶対にならないし、デザインや性能

が）高くていいとは絶対にならないし、デザインや性能



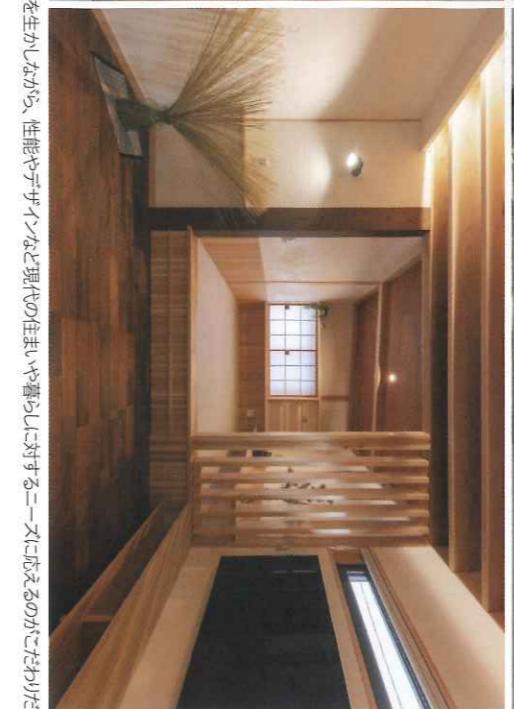
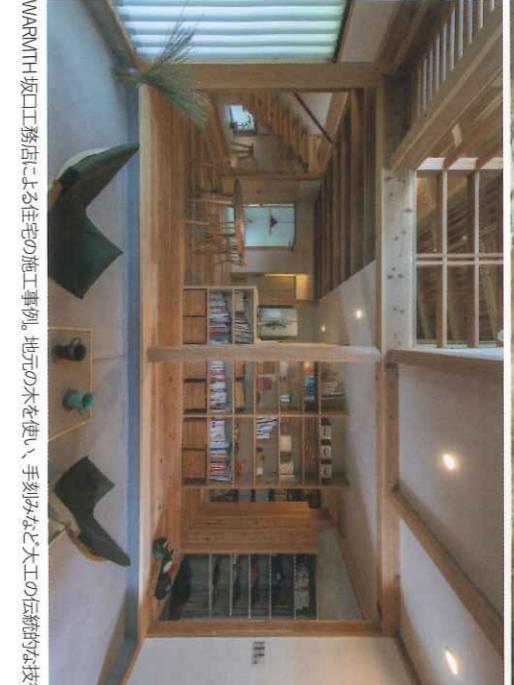
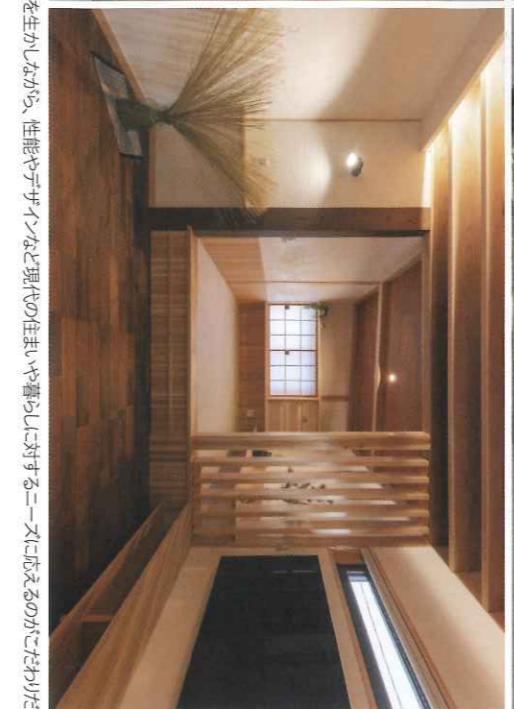
宅や暮らしに対する価値観やニーズに応えていかなければ」と話す。そうした想いを形にするように、昨年の春、家の建築家の荒井好一郎さんとコラボし、富山市内にモデルハウスを新築・オープンした。

耐震等級2とZEHに近い水準の断熱性能を確保しながら、「県産材を使って県内の職人が県内の人たちのためにつくる規格型住宅」をコンセプトに掲げてつった。

工、現場施工・管理まで一気通貫で手がけるスタイルだ。坂口さんは「僕が設計をして伏図も描いているので、その時に自分たちの想いも伝えたい」と語る。

【 大工技術の付加価値を高める】

同社の強みの1つは、坂口さん自身が設計から刻み加工、現場施工・管理まで一気通貫で手がけるスタイルだ。坂口さんは「僕が設計をして伏図も描いているので、その時に自分たちの想いも伝えたい」と語る。



手がける県内の2社の工務店と協働し、3棟が並ぶよう

に建てたもので、坂口さんは「自分も成長できるチャンス大切だが、図面を複雑にし過ぎると木材のロスや非効率化した。ここを訪れた人たちを体感してもらながら、同時に自分たちがつくれている家を体感してもらながら、同時に自分たちの想いも伝えたい」と語る。

段階から刻みや建て方、納まりなどについてもイメージで店と協働し、3棟が並ぶようになります。デザイン性はもちろん大切だが、図面を複雑にし過ぎると木材のロスや非効率化を高めながら、それによつて顧客にも喜ばれるような空間やディテールを自分なりに模索していく考え方だ。

効率性だけでなく、例えば坂口さんが新たに取り入れたいデザインやディテールなどを思いついた際の実行のスピードが速く、現場におけるイメージ(設計)の再現性も必然的に高くなる効果もある。創造性やものづくりの楽しさを大切にする同社の家づくりに最適な仕組みとも言える。

坂口さんは、建築家の瀬野和広さんをリスペクトしているという。「瀬野さんの本を初めて読んだとき、第一印象でこれを書いているのは大工じゃないかと衝撃を受けた。それほど大工の技術に精通した空間やディテールが並んでいた」という。その瀬野さんが設計した県内の住宅の方法をシェアする場にもなつ

まつて開いたもつつき大会など、さまざまな活動やイベントを行っていた。「オーナーさんは、家づくりのオーナーらを対象に、ものづくりのワークショップなどをを行う「輪結(ワームス)クラブ」の活動を通じてコミュニケーションを深めている。コロナ禍になる前は、親子で参加できる木工教室やオーナー宅に集まる「木組みのスツール」

施工を手がけた経験もある。そうした経験も生かしながら、今後も大工の技術の付加価値を高めながら、それによつて顧客にも喜ばれるような空間やディテールを自分なりに模索していく考え方だ。

上:「木組みの階段」は標準仕様。WARMTH坂口工務店の空間のシンボルにもなっている張った壁「ウッドウォール」が施主から好評。大工の技術とセンスが問われる下:金具を使わずに木金で締め固めてくる「木組みのスツール」

WARMTH坂口工務店は、家づくりのオーナーらを対象に、ものづくりのワークショップなどをを行う「輪結(ワームス)クラブ」の活動を通じてコミュニケーションを深めている。コロナ禍になる前は、親子で参加できる木工教室やオーナー宅に集まる「木組みのスツール」

WARMTH坂口工務店の住宅は、内観・外観とも世代を問わず若年層にも人気が出るであろうモダンな雰囲気も宿している。注文住宅は、ほぼ全棟でZEH基準をクリアし、エアコン1~2台で全館の冷暖房を賄うことができる性能も備える。大工の伝統的な技術と地元の木を持つボテンシャル(魅力)を生かしきり、付加価値として空間・ディテールに落とし込みながら、同時に顧客満足度も高めていくという「離れ業」をやってのける坂口さんのことだわりと情熱に打たれた。「木組みの階段」も「木組みのスツール」もカッコいい!

eyes

記者の目

編集部・関 卓実

「大工が地元の木を使って手刻みで建てる家」と聞くと、何となくごつい感じを想像するが、大工であり、2級建築士である坂口さんが設計するWARMTH坂口工務店の住宅は、内観・外観とも世代を問わず若年層にも人気が出るであろうモダンな雰囲気も宿している。注文住宅は、ほぼ全棟でZEH基準をクリアし、エアコン1~2台で全館の冷暖房を賄うことができる性能も備える。大工の伝統的な技術と地元の木を持つボテンシャル(魅力)を生かしきり、付加価値として空間・ディテールに落とし込みながら、同時に顧客満足度も高めていくという「離れ業」をやってのける坂口さんのことだわりと情熱に打たれた。「木組みの階段」も「木組みのスツール」もカッコいい!